

マルチクライアントレポート

～中国のプリンタ/MFP/PP(中古機含む)市場分析レポート～

『プリンタ/MFP/PP の中国における販売チャネル戦略、  
消耗品戦略、市場現状と将来分析』

～2018/2019 年版～

＝中国市場は A3 カラーMFP の新品市場が大幅に拡大しており、先進国市場が苦戦する中、引き続き注目すべき市場である。

一方、プロダクション機においても中国政府による中古機の輸入業者への締め付けが厳しくなり、申請台数以上の輸入を行った業者、あるいは輸入ライセンスを持たない業者への摘発が相次ぎ、拡大の一途を辿っていた中古機市場は急速にトーンダウンしている。このことも中国市場における A3MFP やプロダクション機新品市場の大幅な拡大の要因の一つとなっている。とはいえ、輸入分が減少に転じているとしても中国国内流通分は影響を受けていないこともあり、注目市場であることに変わりはない。本レポートでは、中古機市場の最新動向、ブランド別シェアをはじめ、海外輸入ルートや中古機の販売チャネル、主要業種別顧客情報、品質水準、さらに消耗品の状況（純正品・非純正品）、サポート体制などを現地調査し、新品市場との比較精査をしていく。

また、プリンタ/MFP/PP/LFP の業種別規模別にみたユーザー層の詳細な分析、並びに同平均 PV 分析、純正/非純正消耗品分析、さらには MFP の保守契約形態別実態や、中国全土でのディーラー勢力図分析に焦点を当て、メーカー各社の現地での販売チャネルの直販やディーラーの戦略、地域別展開やサポート体制、ディーラー支援策といった動向を現地調査によりレポート、予測を含めて詳細に調査・報告する＝

**株式会社 インターウォッチ**

東京都千代田区神田須田町 1-8 パールビル

TEL 03-3526-6461 / FAX 03-3526-6462

<http://www.iwco.co.jp/>

## 《レポート発刊にあたって》

欧・米・日といった先進国の市場が A3MFP 機市場においては、対前年割れが続いており、今後もこの傾向が強まるといった見方が出てきている中、中国内の購買力の復活や中古機輸入の監視が中国政府に厳しくかけられることとなったことなど複数の要因から拡大基調を維持している中国市場は今後も注目に値する市場である。

また、悪化の一途を辿っている米国と中国の貿易関係であるが、米中間における貿易関税の高関税化の対象プロダクトに 2018 年 7 月 6 日発効の第 1 弾においてシングルファンクションプリンタのトナーカートリッジが含まれることとなり、既にスタートし、9 月後半以降でバルクトナーも対象プロダクトに含まれるものとみられ、プリンタ/MFP 業界も米中間の貿易戦争の影響は特に消耗品領域において今後出てくるものと予想され、このような米中の貿易摩擦関連情報も追跡していく必要がある。

また、急速なデジタル化、キャッシュレス化に代表されるように、中国社会全体が現在予想以上のハイスピードで変化しており、このことがペーパーレス化に繋がらないという保証はどこにもなく、PPC 用紙の消費量といったメディアからの側面も注視していく必要性のある市場である。

PPC/MFP の新品市場については、モノクロ機が比率としては未だに大きい市場の中、カラー化のシフト率がどこまで進んでいるのか、スピードセグメントの変化（高速化）、カウンターチャージ契約方式の比率、純正消耗品比率の関係などを調査・分析するものとする。

また、中古機が環境問題を重視している中国共産党政府により 2017 年後半から事実上の制限をかけられることとなり、市場としては減少に転じている状況にある。とはいえ、摘発を受けたのは海外輸入分であり、国内流通分は大きく変化はしていないものとみられ、引き続き中古機業者の販売戦略、販売チャネル、そのサポート体制、契約形態はどのようになっているのか、今後中古機 MFP 市場はどのように変化していくのかといった予測を含め、調査・分析する。

印刷市場を中心に拡大基調にあるプロダクション機については、販売チャネル、エンドユーザー層、エンドユーザーのニーズなどを掘り下げていく。

レーザープリンタ/MFP 市場においては、MFP 化の進展やネット通販での販売比率のさらなる上昇や各社の純正消耗品比率を調べ、利益を上げるための対策をどのように行っているのか、また、プリンタ/MFP 事業そのものをどのように展開していく方向性にあるのか等を引き続き現地調査・分析する。

更に中国国内での A3/A4 サイズのビジネスインクジェットプリンタの市場規模及び今後の方向性、レーザープリンタ市場への侵食度合いなども継続して調査する。

本レポートでは、プリンタ/MFP、複合機、さらには POD、LFP、FAX メーカー各社の中国現地での販売チャネルの現状の問題点と改善策、戦略、消耗品戦略や中国全土でのディーラーの販売状況、ネットでの販売傾向はどのようになっているのか、大型最新案件はどうか等、今後の方向性を現地調査によりレポート、予測を含めて詳細に調査・報告する。

## I. 調査対象品目、及び調査対象先

調査対象品目	調査対象メーカー	ベンダー数
A.レーザー/LED プリンタ	HP、Lenovo、Brother、Samsung、Epson、Canon、Fuji Xerox、kyoceraDS、OKI、Pantum	約 12 社
B.PPC/MFP/POD/LFP	富士ゼロックス、シャープ、東芝テック、コニカミノルタ、リコー、キヤノン、京セラDS、HP(サムスン)、オーロラ、他	約 10 社
C.インクジェットプリンタ/MFP、ドットインパクトプリンタ、FAX	HP、Epson、Canon、Panasonic、OKI、南京富士通、中税、映美(ジョリマーク) 他	約 10 社
計		約 35 社

## II. 調査方法

1. 調査対象先に対する直接訪問面接インタビュー
  - 1) 弊社による現地直接調査
  - 2) 弊社提携先による現地直接調査
2. 公開されている統計等のオープンデータ
3. 上記に基づく弊社分析

## III. 調査対象範囲

調査対象範囲は 2014 年、2015 年、2016 年、2017 年 2018 年、2019 年(予測)、2020 年(予測)とする

## IV. 調査形態、他

1. 調査形態、及び提供サービス、報告書
  - 1) 本調査はマルチクライアントによる調査である
  - 2) 調査報告書は A4 判コピー製本
  - 3) ご希望により報告書刊行後、報告会を実施
  - 4) 報告書を購入していただいたクライアントに対する、問い合わせによるアフターサービス
2. 調査期間  
2018 年 10 月～2019 年 1 月
3. 調査報告書刊行日  
2019 年 2 月 15 日
4. 調査報告書価格  
¥ 800,000- (消費税別途) ※ハードコピーの成果物は 1 冊ご提供するものとする
5. 調査担当  
顧于裕 誉田和也 野村哲夫

## 《目次》

<b>I. 中国全体市場編</b> .....	<b>1</b>
1. 中国市場における方式別市場推移.....	1
1) 販売台数推移比較.....	1
2) レーザープリンタ市場.....	2
(1) SFP+MFP、カラー+モノクロ販売台数.....	2
(2) メーカー別販売台数.....	3
(3) 販売金額.....	4
3) インクジェットプリンタ市場（インクジェット SFP+インクジェット MFP）.....	5
(1) 販売台数.....	5
(2) 販売金額.....	6
4) デジタル MFP・PPC 市場（カラー/モノクロ、A3+A4）.....	7
(1) 販売台数.....	7
(2) 販売金額.....	8
5) 電子写真 POD（カラー/モノクロ）市場.....	9
(1) 販売台数.....	9
(2) 販売金額.....	10
<b>II. 中国 MFP・PPC 市場編</b> .....	<b>11</b>
1. デジタル MFP・PPC の市場推移.....	11
1) A3 デジタル MFP・PPC（カラー+モノクロ）.....	11
(1) 販売台数.....	11
(2) 販売金額.....	12
2) A3 モノクロデジタル MFP・PPC.....	13
(1) 販売台数.....	13
(2) 販売金額.....	14
3) A3 カラーMFP・PPC.....	15
(1) 販売台数.....	15
(2) 販売金額.....	15
2. デジタル MFP・PPC の市場推移.....	17
1) カラー/モノクロ別市場推移（A3+A4）.....	17
(1) 販売台数.....	17
(2) 販売金額.....	18
2) メーカー別市場推移（カラー/モノクロ A3+A4）.....	19
(1) 販売台数.....	19
(2) 販売金額.....	20
3) モノクロデジタル MFP・PPC のサイズ別市場推移.....	21
(1) A3+A4 販売台数.....	21
①メーカー別販売台数.....	22
②メーカー別販売金額.....	23

(2) A3 モノクロ	24
①販売台数	24
②販売金額	25
(3) A4 モノクロ	26
①販売台数	26
②販売金額	28
(4) A3 モノクロ MFP・PPC のスピード別市場 (2018 年)	28
4) カラーデジタル MFP・PPC のサイズ別市場推移	29
(1) A3+A4 販売台数	29
①販売台数	30
②販売金額	31
(2) A3 カラー	32
①販売台数	32
②販売金額	33
(4) A4 カラー	34
①販売台数	34
②販売金額	35
3. 地域別市場推移	36
1) 地域別市場推移 (2015 年～2018 年、カラー+モノクロ、A3+A4)	36
2) 地域別メーカー別販売推移 (2015 年～2018 年)	37
4. 中国 MFP・PPC 市場について	39
1) 全体概観	39
2) A3 モノクロ MFP	40
3) A3 カラー MFP	40
4) 複写機系 A4MFP	40
5) 複写機系官公庁向け市場	40
6) 平均 PV について	41
7) 保守契約形態比率について (2018 年)	41
8) 消耗品純正率について	41
9) MPS について	42
10) A3 インクジェット MFP について	42
5. MFP・PPC の消耗品について	43
6. 中国市場における各社の動向	44
7. 中国 MFP・PPC の販売チャネルの特徴	46
8. A3 モノクロ低セグメント MFP の動向について	49
9. 主要メーカーの販売戦略	50

各社共通

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 複写機/複合機の販売動向   (1) 販売推移   (2) 中期的販売計画</li> <li>2) 販売チャネルの概況と今後の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 販売チャネル相関図 (2) 販売チャネルの現状の問題点と改善策</li> <li>(3) 消耗品純正率についての見方</li> </ul> </li> </ul> |
|--|

【Fuji Xerox】	50
【Konica Minolta】	57
【Sharp】	65
【Toshiba】	70
【Ricoh】	73
【Canon】	81
【Samsung / hp】	87
【京セラ DS】	90
【オーロラ】	90
【Founder（方正集団）】	91
【PANTUM INTERNATIONAL】	91
<b>III. 中国中古機市場編</b>	<b>93</b>
1. 中古機+再生機市場推移	93
1) 販売台数	93
2. 中古機市場推移	94
1) モノクロ/カラー別販売台数	94
2) セグメント別販売台数	94
3) 対象ブランド別販売台数	94
3. 主要中古機ベンダー別販売推移	95
1) 南京田中機電再制造有限公司	95
2) 中美佳办公設備再制造有限公司	96
3) 威海康威智能設備有限公司	97
4) その他中古機ベンダー/ディーラー	98
【プロダクション中古機市場について】	99
4. 仕入価格（主要機種別例）	100
5. 販売価格（主要機種別例）	101
6. 新品との価格差（主要機種別例）	102
7. モノの流れ（輸入ルートを含む）	103
8. 最終顧客情報（主要業種別）	104
9. 保証・補修費・サービスの有無	105
10. 品質水準について	106
11. 消耗品の状況（正規品・代用品）	107
12. 政府等の許認可	108
13. その他中古機情報	109
参考：中国での中古機価格帯	111
<b>IV. 中国 POD 市場編</b>	<b>121</b>
1. 中国における POD 市場について	121
1) 市場推移	121
(1) 販売台数	121
(2) 販売金額	121

(3) メーカー別シェア推移	121
2) モノクロ POD 市場	122
(1) 販売台数	122
(2) 販売金額	122
(3) メーカー別シェア推移	122
3) カラーPOD 市場	123
(1) 販売台数	123
(2) 販売金額	123
(3) メーカー別シェア推移	123
4) 地域別市場販売台数推移 (2013 年～2019 年)	124
5) 方式別市場販売台数推移 (2013 年～2019 年)	125
6) 中国における POD 市場について	126
7) 中国における LFP 市場について	126
8) 中国 POD 販売チャネルの特徴 (2016 年)	128
2. 主要メーカーの販売戦略	130
【Fuji Xerox】	130
【Konica Minolta】	135
【HP】	139
【Ricoh】	139
【Canon】	139
<b>V. プリンタ/MFP 市場編</b>	<b>141</b>
1. レーザープリンタ/レーザーMFP の市場推移	141
1) 販売台数	141
2) 販売金額	142
【中国プリンタ市場概況】	143
2. 中国市場の現状と各社の戦略について	144
1) 先進国市場と中国市場との違いについて	144
2) 中国事情に基づく各社の戦略について	145
3. 中国市場における今後のビジネスモデルの構築のためのヒント	146
4. ユーザー側はなぜそのブランドのレーザープリンタを選択するのか	147
5. レーザープリンタ/MFP の市場推移	148
1) カラーレーザープリンタ+モノクロレーザープリンタ	148
(1) 販売台数	148
(2) 販売金額	149
(3) ベンダー/メーカー別シェア (2018 年：台数)	150
2) カラーレーザープリンタのメーカー別販売推移	151
(1) 販売台数	151
(2) 販売金額	152
(3) ベンダー/メーカー別シェア (2018 年：台数)	153
3) モノクロレーザープリンタのメーカー別販売推移	154

(1) 販売台数	154
(2) 販売金額	155
(3) ベンダー/メーカー別シェア (2018年：台数)	156
(4) 速度別市場推移	156
4) A4サイズ別販売台数推移	157
(1) カラー+モノクロ	157
(2) カラー	158
(3) モノクロ	158
5) A3サイズ別販売台数推移	159
(1) カラー+モノクロ	159
(2) カラー	160
(3) モノクロ	160
6) レーザーMFPの販売推移	161
(1) カラー+モノクロ	161
(2) カラー	163
(3) モノクロ	163
6. 地域別市場	165
1) 地域別市場推移 (2015年～2018年)	165
2) 地域別メーカー別販売推移 (レーザープリンタ+レーザーMFP、2015年～2018年)	166
(1) 販売台数推移	166
(2) 販売比率推移	167
7. 中国市場における消耗品模造品並びにサードパーティ品対応策の現状と今後	168
1) トナー生産量、シェア等について	168
2) 純正品、サードパーティ品等の現状	168
(1) レーザープリンタ消耗品	168
(2) 中国政府側の対応	168
(3) メーカー側の対応	169
(4) ユーザー側意識	169
(5) 省・地域による違い	169
8. プリンタ/MFPの販売チャンネルについて	170
1) プリンタの販売チャンネルの特徴	170
2) レーザー製品(レーザープリンタ/AIO、モノ、カラー)販売チャンネルツリー構造について	171
【中国におけるレーザープリンタ/MFP消耗品販売チャンネルツリー構造について】	174
9. 中国市場における各社の動向 (LBP/MFP)	176



10. 主要各社の販売傾向と戦略 ..... 177

**各社共通**

- 1) 印字方式別販売チャンネル別市場推移 (OEM は別集計)
- 2) 各販売チャンネルの傾向、特色、そのチャンネルでの上位ディーラー名
- 3) 販売力 (1) 地域別販売戦略  
(2) ディーラー・販売会社へのサポート・プロモーション～インセンティブ戦略  
(3) どこの業種に強いのか、なぜ強いのか (主力ユーザーの業種別傾向)
- 4) 消耗品戦略 (1) 純正消耗品比率 (2016 年)  
(2) 主力ユーザーの業種別消耗品使用傾向 (純正か否か)～なぜその消耗品なのか
- 5) サポート体制

【HP】	177
【Lenovo】	189
【Samsung】	200
【Fuji Xerox】	212
【Canon】	215
【Epson】	218
【Ricoh】	223
【Brother】	226
【京セラドキュメントソリューションズ】	232
【沖データ】	230
【パナソニックシステムネットワークス】	233
【レックスマーク (NINESTAR GROUP(G&G))】	233
【中国メーカーによるレーザープリンタ開発の最新動向について】	234
1) PANTUM INTERNATIONAL	234
2) DELI (得力)	235
11. 中国市場におけるレーザープリンタのトナーカートリッジ純正品比率について	237
1) モノクロレーザープリンタ/MFP	237
2) カラーレーザープリンタ/MFP	238
12. 中国市場におけるトナーカートリッジ販売推移	239
1) モノクロトナー販売推移	239
(1) 販売本数	239
(2) 販売金額	240
2) メーカー別モノクロトナー販売推移	242
(1) HP	242
(2) Samsung	245
(3) Brother	258
(4) Lexmark	251
(5) Xerox	254
(6) Kyocera	257

(7) Dell	260
(8) Canon	263
(9) Oki	266
(10) Ricoh	269
(11) Lenovo	272
(12) Others	275
3) カラートナー販売推移	278
4) メーカー別カラートナー販売推移	281
(1) HP	281
(2) Samsung	284
(3) Brother	287
(4) Lexmark	290
(5) Xerox	293
(6) Kyocera	296
(7) Canon	299
(8) Lenovo	302
(9) Ricoh	305
5) レーザープリンタ/MFP の本体、消耗品	308
13. インクジェットプリンタ/MFP 市場	309
1) インクジェットプリンタ/MFP 販売推移	309
(1) 販売台数	309
(2) 販売金額	310
2) インクジェットプリンタの販売推移	311
(1) 販売台数	311
(2) 販売金額	312
(3) メーカー別シェア (2018年：台数)	313
3) インクジェット MFP の販売推移	314
(1) 販売台数	314
(2) 販売金額	315
(3) メーカー別シェア (2018年：台数)	316
4) ビジネスインクジェットプリンタ/MFP の販売推移	317
(1) 販売台数/販売金額	317
(2) カテゴリ別販売台数推移	318
14. ドットインパクトプリンタ市場	320
1) 市場全体分析	320
2) 中国市場におけるメーカー別シェア (2018年)	321
3) 各社の動向	323
(1) セイコーエプソン	323
(2) 南京富士通 (南京富士通电子信息科技股份有限公司)	323
(3) Jolimark	325

(4) Dascom .....	328
(5) Nantian .....	328
(参考) 業種別からみた中国レーザープリンタ市場 .....	331
(参考) 中国展示会レポート .....	333
「Remax Asia Expo 2018」 .....	323
<b>VI. 中国サプライ品業者 .....</b>	<b>345</b>
1. G&G (珠海納思達電子科技有限公司) .....	345
2. Print-rite (珠海天威馬打印消耗有限公司) .....	347
3. Hubei Dinlong Group .....	349
4. CET .....	351
<b>VII. 中国市場の PV について .....</b>	<b>353</b>
1. 中国市場におけるプリントボリューム(モノクロ、カラー別、印字方式別)推移について .....	353
2. 中国における PPC 用紙メーカーと市場シェアについて .....	355
3. PPC 用紙：販売チャネル相関図 .....	357
<b>VIII. 参考 .....</b>	<b>359</b>
1. 中国における販売代理店一覧 .....	359
1) HP .....	359
2) Lenovo .....	368
3) Samsung .....	381
4) 沖データ .....	387
5) 京セラ DS .....	389
6) Brother .....	390
7) シャープ .....	391
8) 東芝テック .....	394
9) リコー .....	398
10) コニカミノルタ .....	400
11) 富士ゼロックス .....	407
12) キヤノン .....	412
13) エプソン .....	415
14) Lexmark .....	425
15) パナソニック .....	426
2. 中国入札案件一覧 .....	429
3. 中国全国主要ディーラーマップ .....	434
4. 中国主要電気量販店一覧 .....	522
5. 消耗品案件 .....	523
1) 純正メーカー .....	523
2) コンパチブルメーカー .....	524
6. 中国販売代理店ヒアリング (2018 年 12 月実施) .....	526
1) 北京思銳達弁公設備有限公司 .....	526

2) 上海京貝数碼科技有限公司	527
3) 北京聯盛瀚海科技有限公司	528
4) 成都欣光電科技有限責任公司	529
5) 武漢聯衆偉業科技有限公司	530
6) 濟南金辰亜商貿有限公司	531
7) 上海志誠泰和信息技術有限公司	532
8) 廣東迅維信息産業股份有限公司	533
9) 廈門市閩施樂電子器材有限公司	534
10) 石家莊盛世偉業太和店	535

## 【お申込書】

2018/2019 年版 ～中国のプリンタ/MFP(中古機含む)市場分析レポート～ <b>『プリンタ/MFP/PP の中国における          販売戦略、消耗品戦略、市場現状と将来分析』</b>			
御社名			
所 属			
お名前			
住 所			
TEL		FAX	
E-Mail	@		

上記欄にご記入の上、FAX、または郵送、E-mailにてお送り下さい。  
 お電話でのお問い合わせでも結構です。

株式会社インターウォッチ

TEL : 03-3526-6461

FAX : 03-3526-6462

E-mail : interwatch@iwco.co.jp

担当：野村哲夫